

県民の栄養素摂取状況の経年変化

背景

令和4年度滋賀の健康・栄養マップ調査の結果から...

男性 20～29歳 エネルギー摂取量 2,052 kcal たんぱく質摂取量 73.0 g
70歳以上 2,051 kcal たんぱく質摂取量 72.6g

女性 20～29歳 エネルギー摂取量 1,510 kcal たんぱく質摂取量 55.8 g
70歳以上 1,734 kcal たんぱく質摂取量 76.7g

若年女子のたんぱく質摂取・エネルギー摂取が少ない

目的

国民健康・栄養調査、滋賀の健康・栄養マップ調査のデータを用いて、
性・年齢階級別のたんぱく質摂取量の経年変化を明らかにする

方法

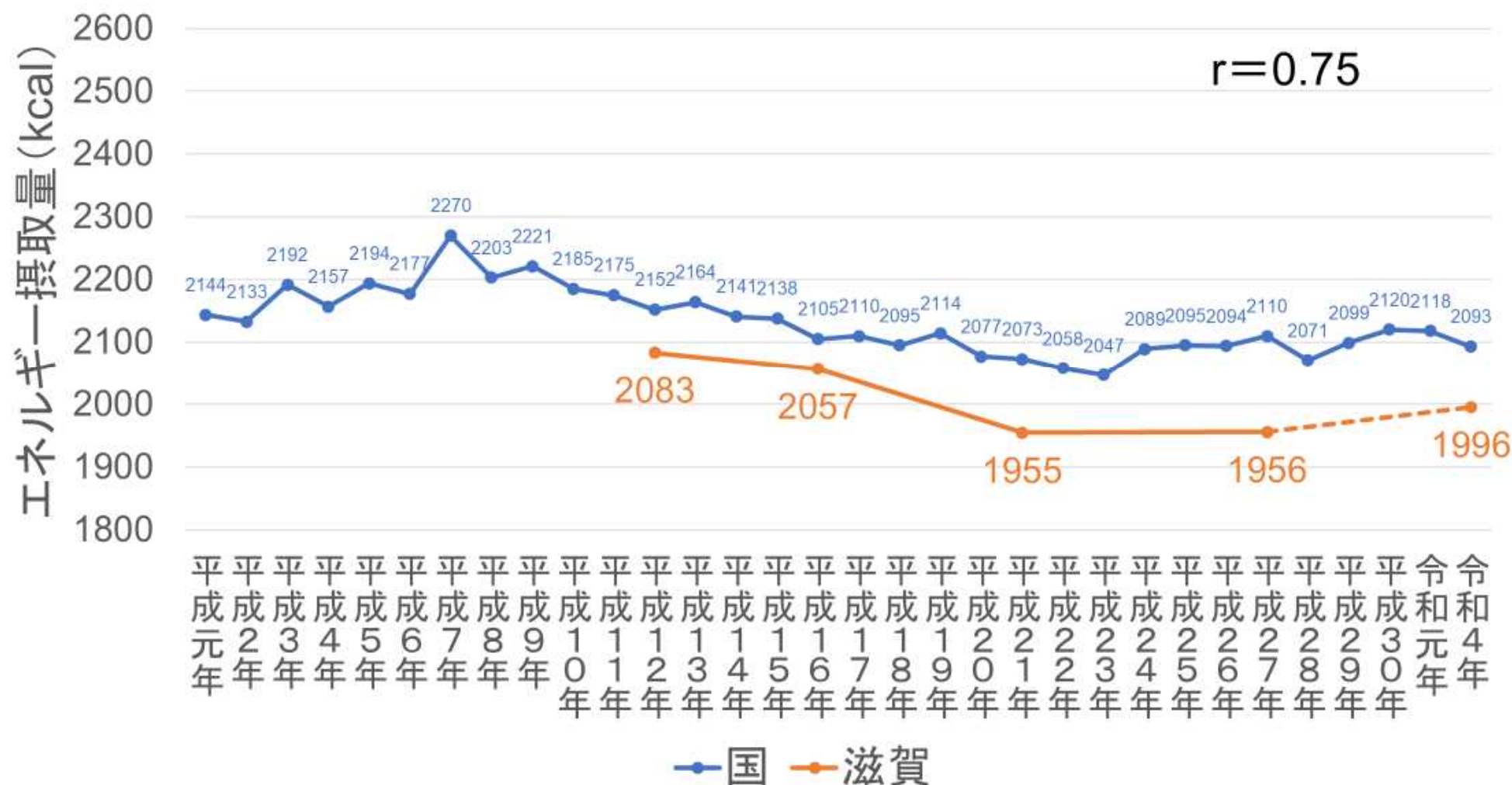
・データソース

- **国民健康・栄養調査** 平成元年度～令和4年度
秤量食事記録法、平成元年～平成6年は1人世帯のみのデータ
昭和22年～昭和63年は性・年齢階級別のデータなし
平成29年～令和4年は70-79歳→70歳以上
- **滋賀の健康・栄養マップ調査** 平成12年度～令和4年度
平成27年までは秤量食事記録法、令和4年はBDHQ調査
昭和61年～平成8年は性・年齢階級別のデータなし
平成12年～平成21年は25-29歳→20-29歳

年齢階級は、20-29、30-39、40-49、50-59、60-69、70歳以上とし、
性・年齢階級別のエネルギーおよびたんぱく質摂取量の経年変化をまとめた。
国と県の栄養調査のエネルギーおよびたんぱく質摂取量の相関係数を算出した。

エネルギー摂取量の経年変化（男性全体）

男性 全体



※ 国民健康・栄養調査 昭和22年～昭和63年は性・年齢階級別のデータなし

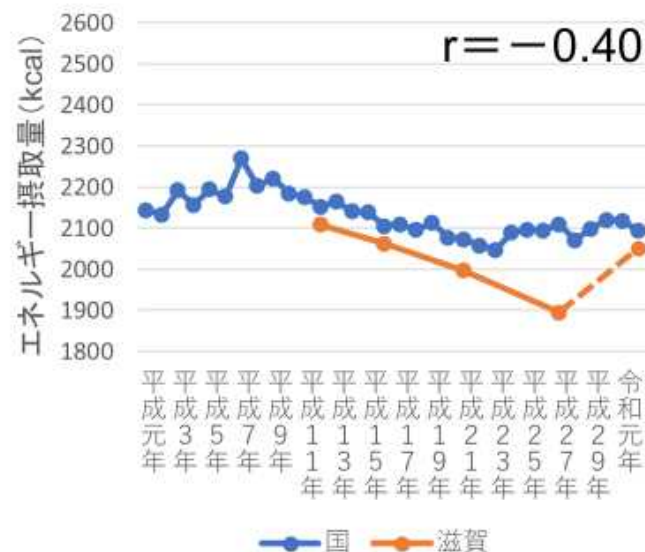
平成元年～平成6年は1人世帯のみのデータ、平成29年～令和4年は70-79歳→70歳以上

※ 滋賀の健康・栄養マップ調査 昭和61年～平成8年は性・年齢階級別のデータなし

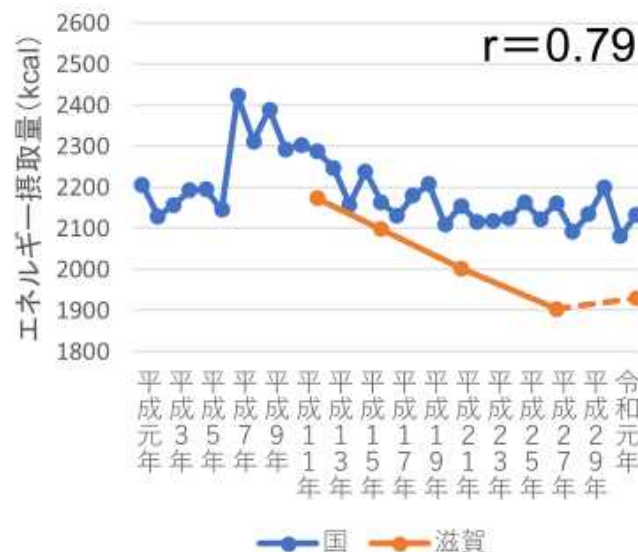
平成27年までは秤量食事記録法、令和4年はBDHQ調査、平成12年～平成21年は25-29歳→20-29歳

エネルギー摂取量の経年変化(男性・年齢階級別)

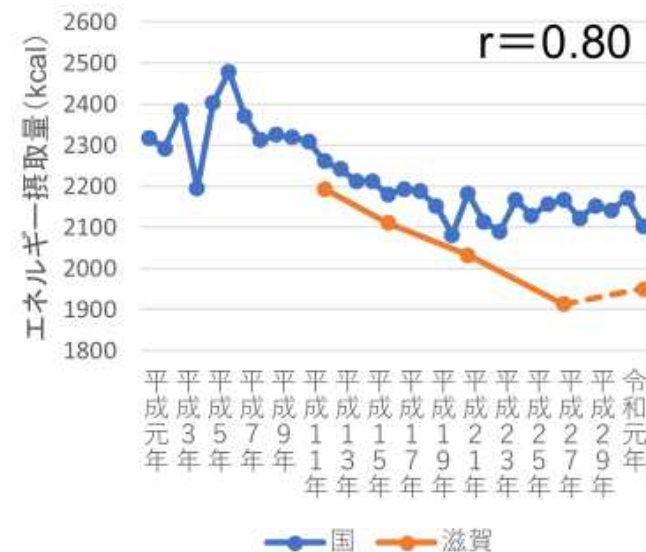
20～29歳男性



30～39歳男性



40～49歳男性



50～59歳男性



60～69歳男性

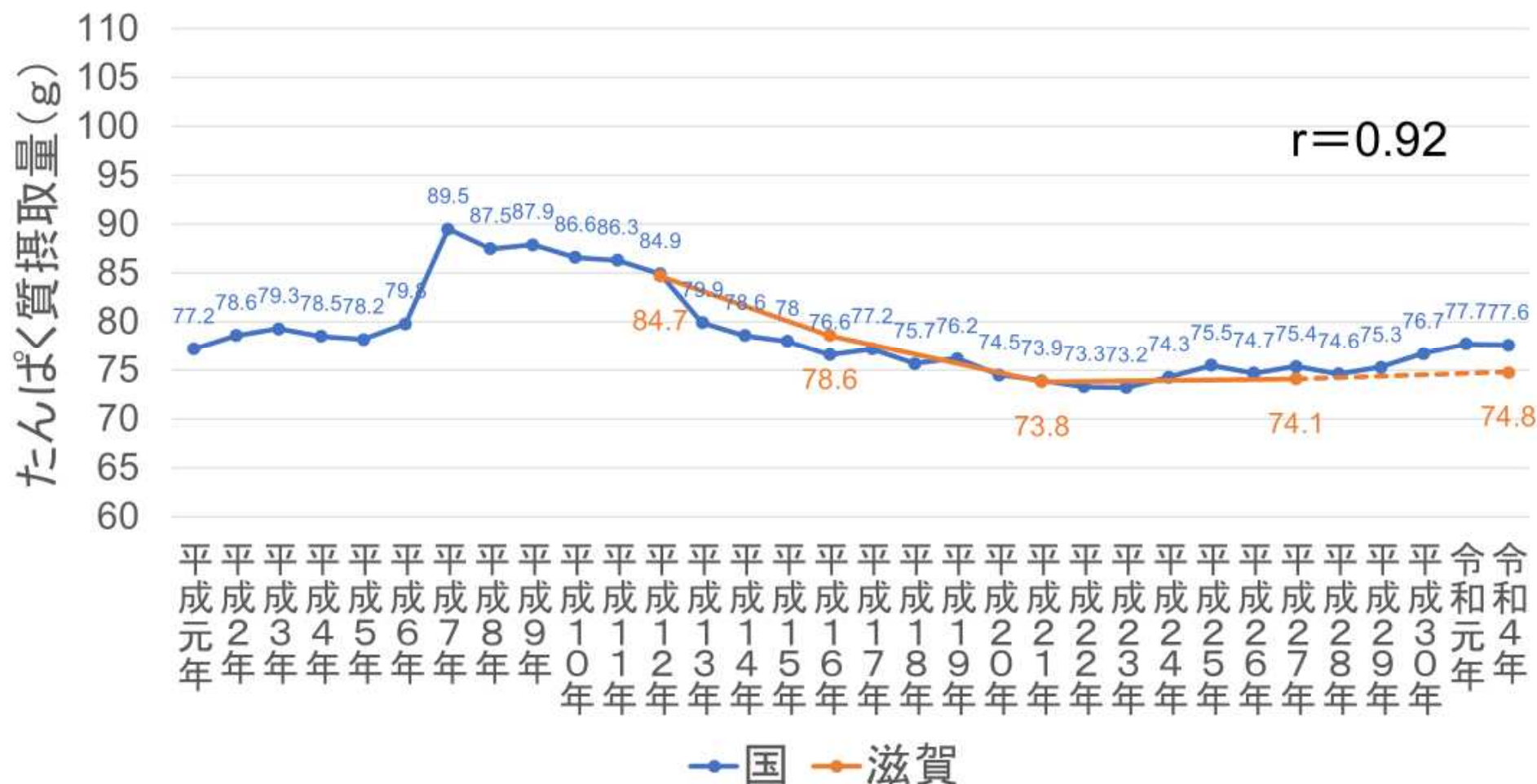


70歳以上男性



たばく質摂取量の経年変化（男性全体）

男性 全体



※ 国民健康・栄養調査 昭和22年～昭和63年は性・年齢階級別のデータなし

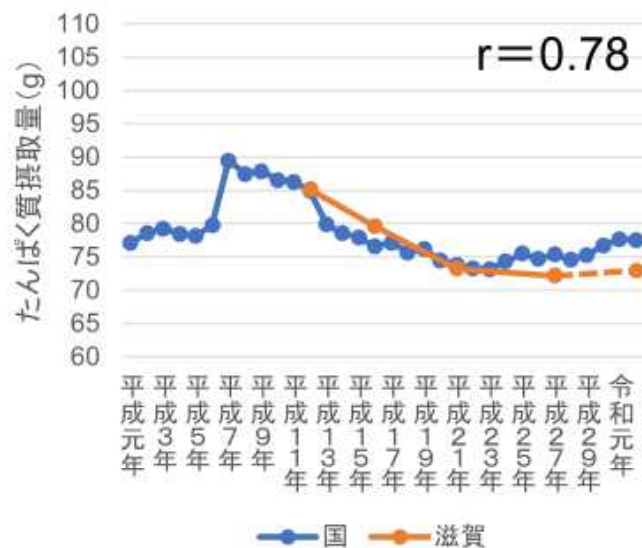
平成元年～平成6年は1人世帯のみのデータ、平成29年～令和4年は70-79歳→70歳以上

※ 滋賀の健康・栄養マップ調査 昭和61年～平成8年は性・年齢階級別のデータなし

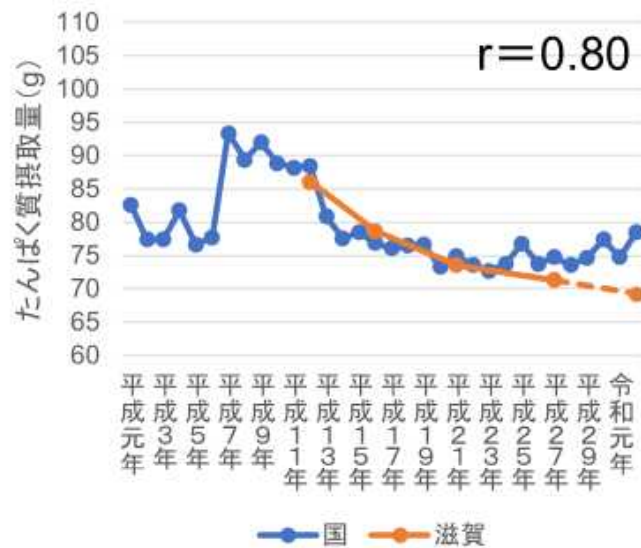
平成27年までは秤量食事記録法、令和4年はBDHQ調査、平成12年～平成21年は25-29歳→20-29歳

たばく質摂取量の経年変化(男性・年齢階級別)

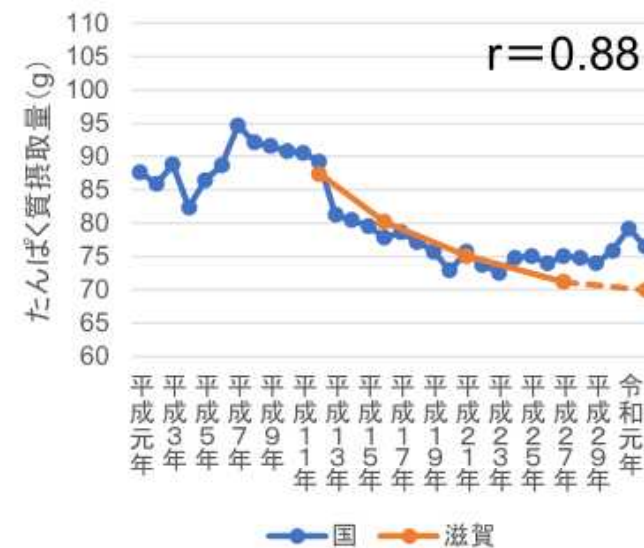
20～29歳男性



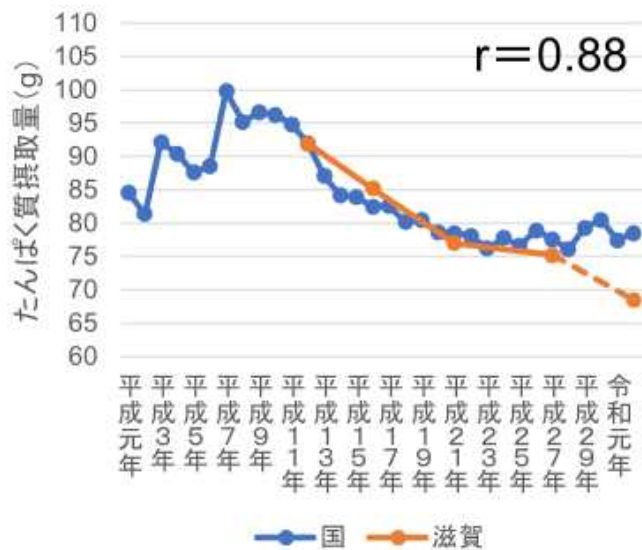
30～39歳男性



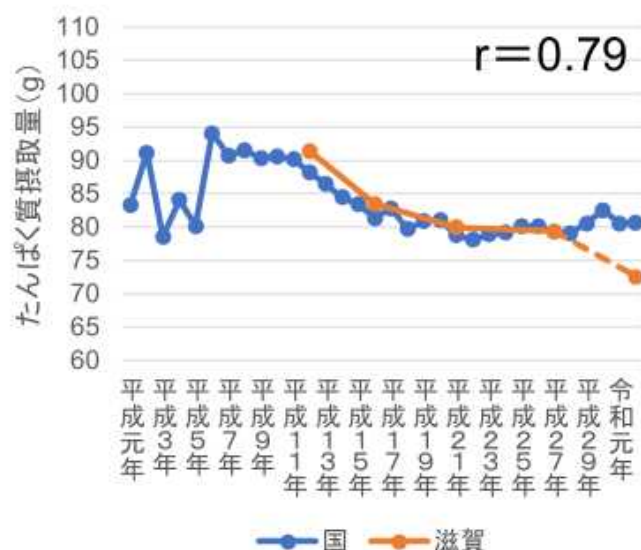
40～49歳男性



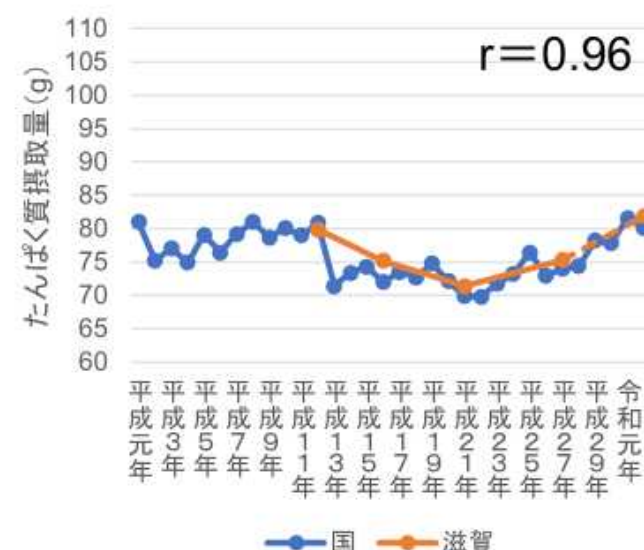
50～59歳男性



60～69歳男性

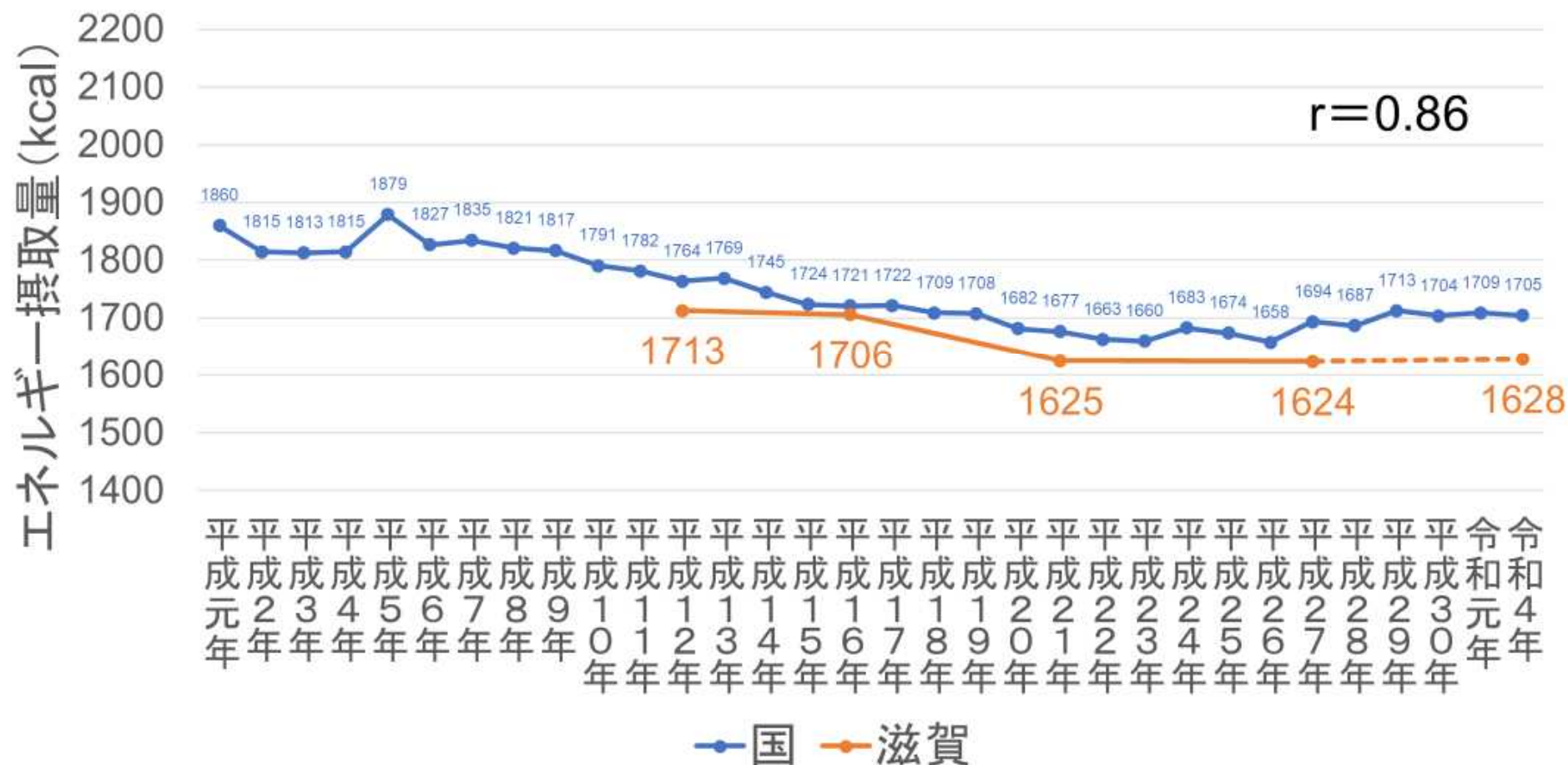


70歳以上男性



エネルギー摂取量の経年変化（女性全体）

女性 全体



※ 国民健康・栄養調査 昭和22年～昭和63年は性・年齢階級別のデータなし

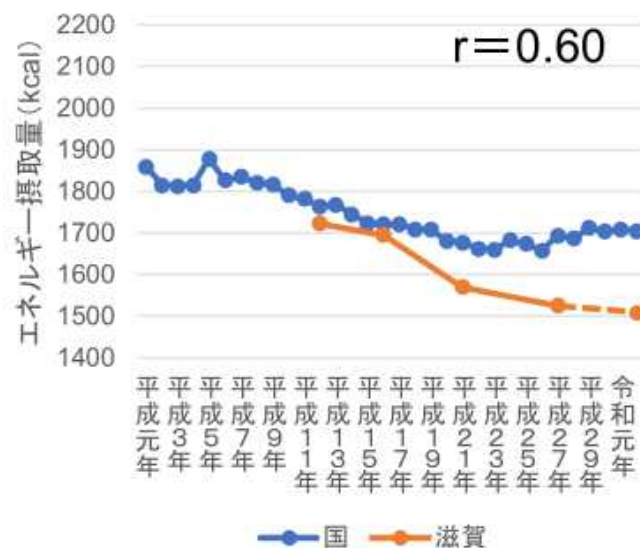
平成元年～平成6年は1人世帯のみのデータ、平成29年～令和4年は70-79歳→70歳以上

※ 滋賀の健康・栄養マップ調査 昭和61年～平成8年は性・年齢階級別のデータなし

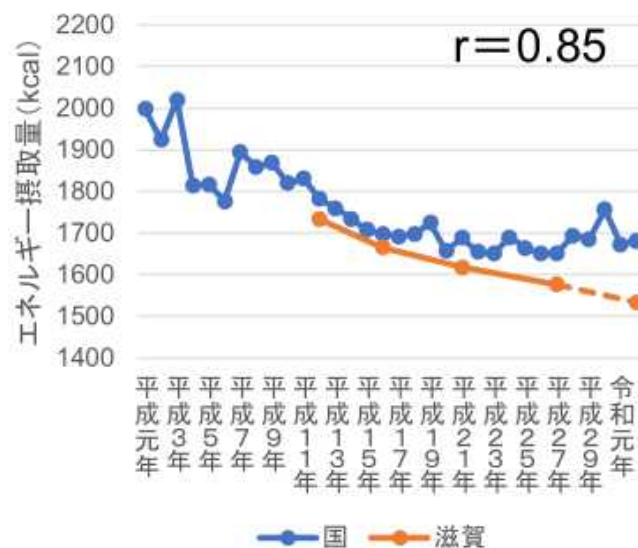
平成27年までは秤量食事記録法、令和4年はBDHQ調査、平成12年～平成21年は25-29歳→20-29歳

エネルギー摂取量の経年変化(女性・年齢階級別)

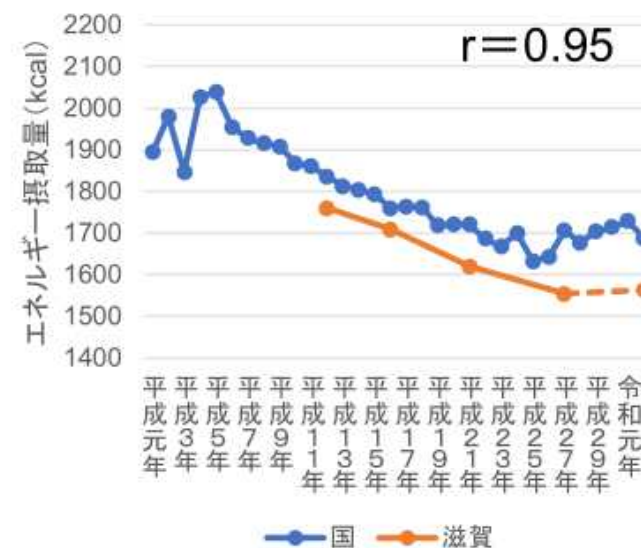
20～29歳女性



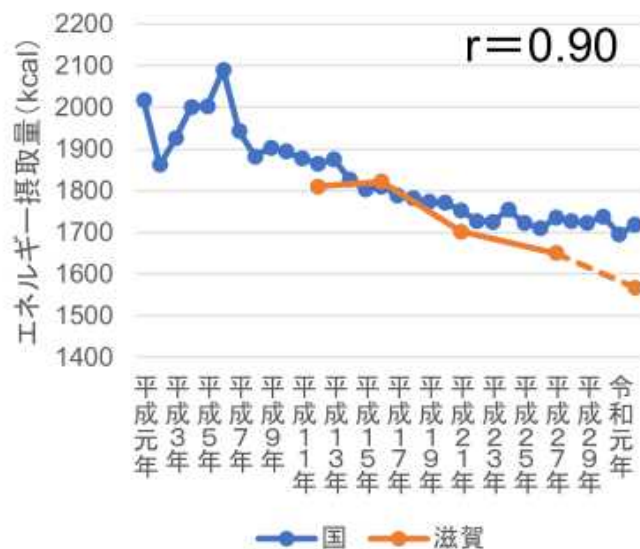
30～39歳女性



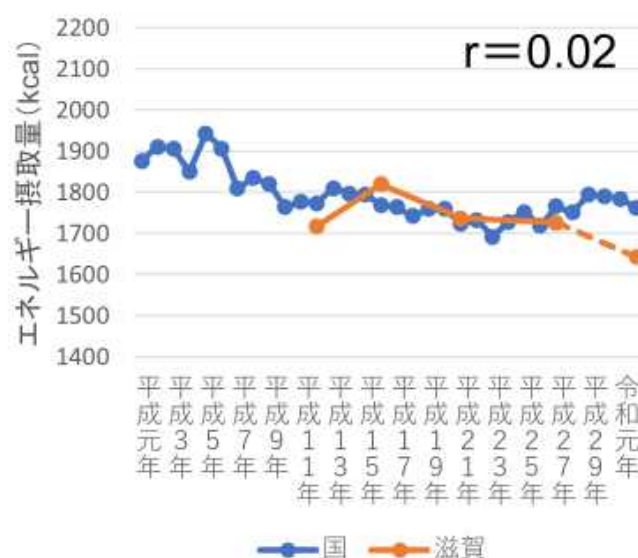
40～49歳女性



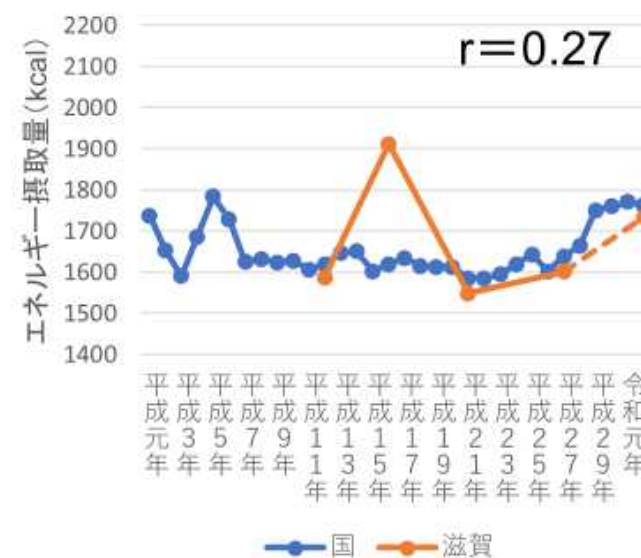
50～59歳女性



60～69歳女性

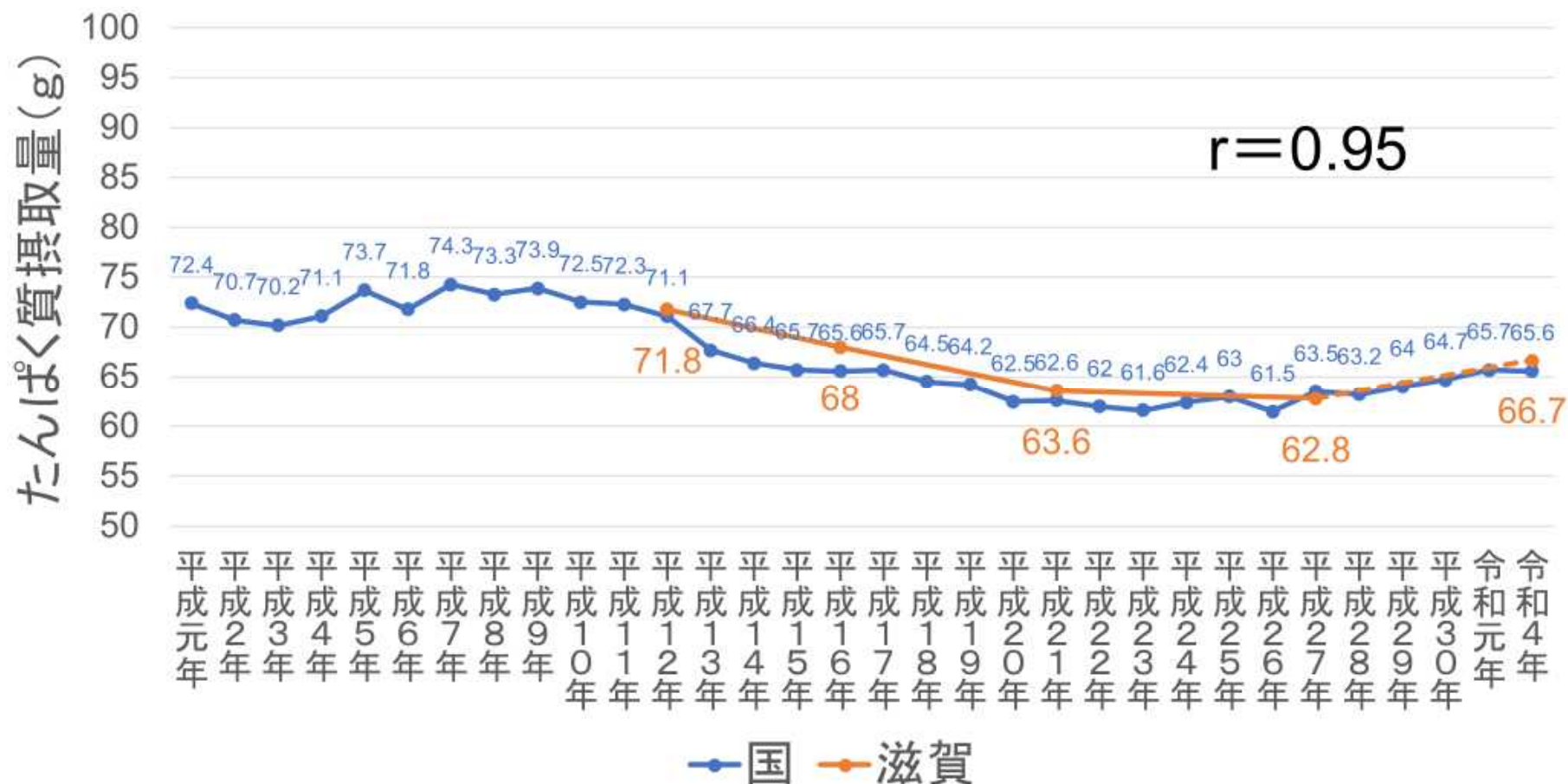


70歳以上女性



たばく質摂取量の経年変化（女性全体）

女性 全体



※ 国民健康・栄養調査 昭和22年～昭和63年は性・年齢階級別のデータなし

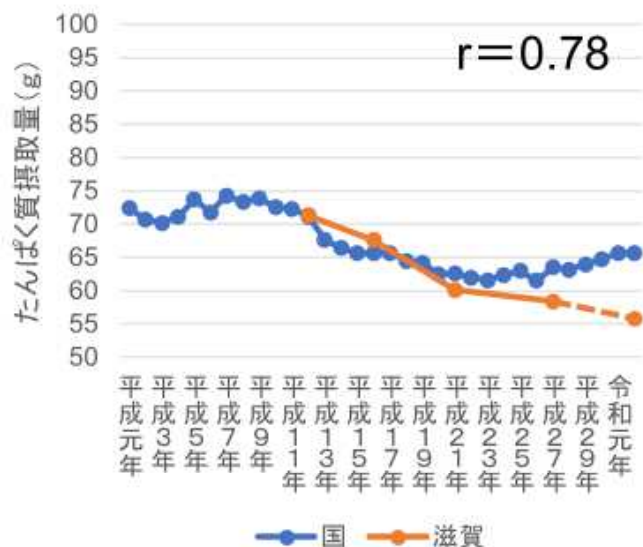
平成元年～平成6年は1人世帯のみのデータ、平成29年～令和4年は70-79歳→70歳以上

※ 滋賀の健康・栄養マップ調査 昭和61年～平成8年は性・年齢階級別のデータなし

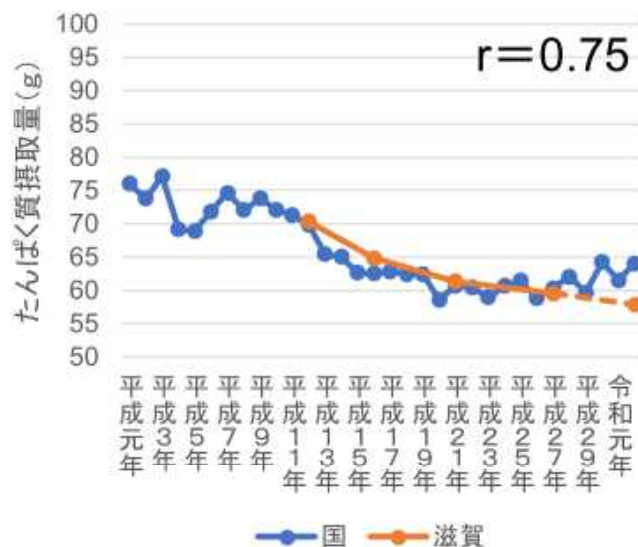
平成27年までは秤量食事記録法、令和4年はBDHQ調査、平成12年～平成21年は25-29歳→20-29歳

たんぱく質摂取量の経年変化（女性・年齢階級別）

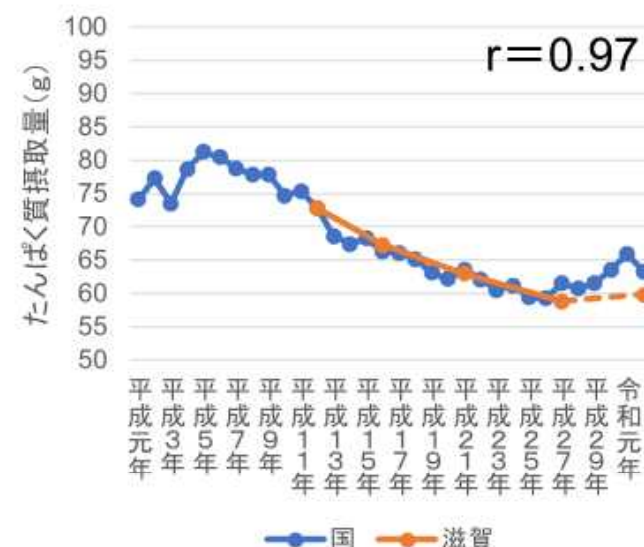
20～29歳女性



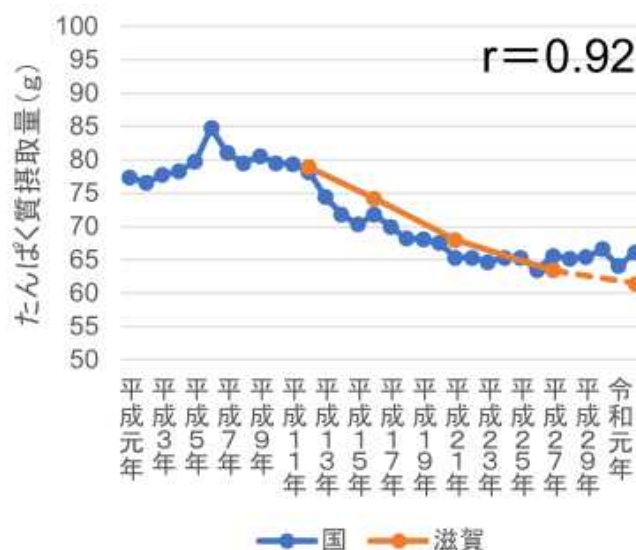
30～39歳女性



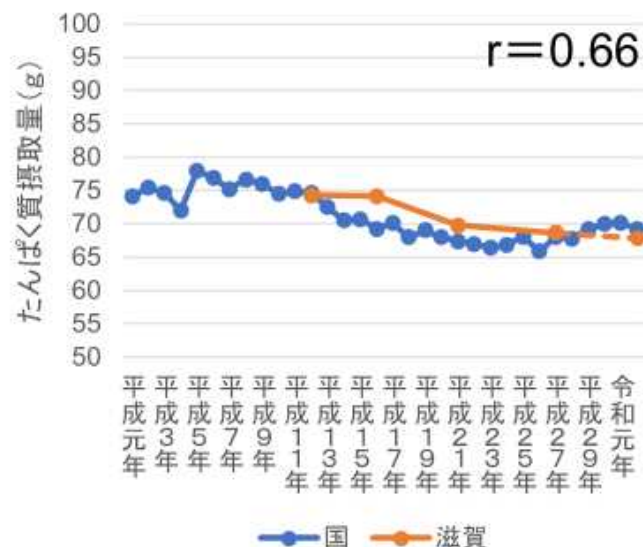
40～49歳女性



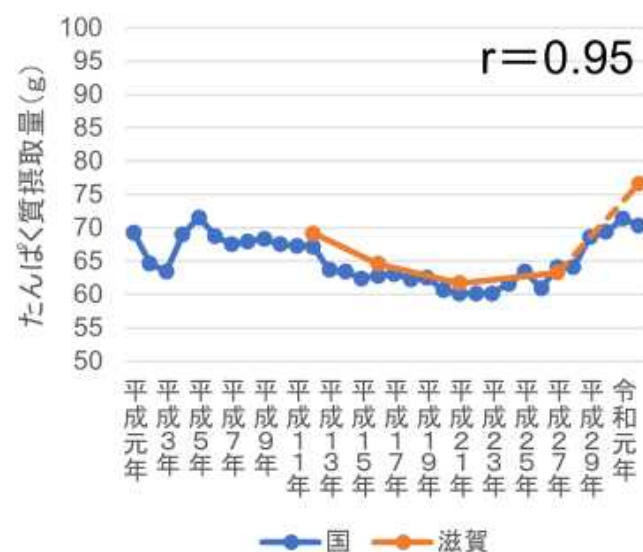
50～59歳女性



60～69歳女性



70歳以上女性



まとめ・考察

全体

- ・国と県のたんぱく質摂取量の相関係数はおおむね高く、同様の経年変化
→調査方法による影響はそれほど大きくない

- ・高齢者は、男女共に高い摂取量を保っている

- 高度経済成長期の時代の人々が若いうちから現在まで
高い摂取量を保っており、フレイル対策の効果も出てきている可能性

男性

働き世代で低下が大きい、女性に比べると、下げ止まり

若い世代で、滋賀県は国よりも摂取量が低く、差が大きくなってきている

女性

若い世代で摂取量が低下し続けている

若い世代で、滋賀県は国よりも摂取量が低く、差が大きくなってきている

若い世代に向けたたんぱく質摂取量増加の取り組みの必要性を示唆

湖南圏域の健康・栄養の状況

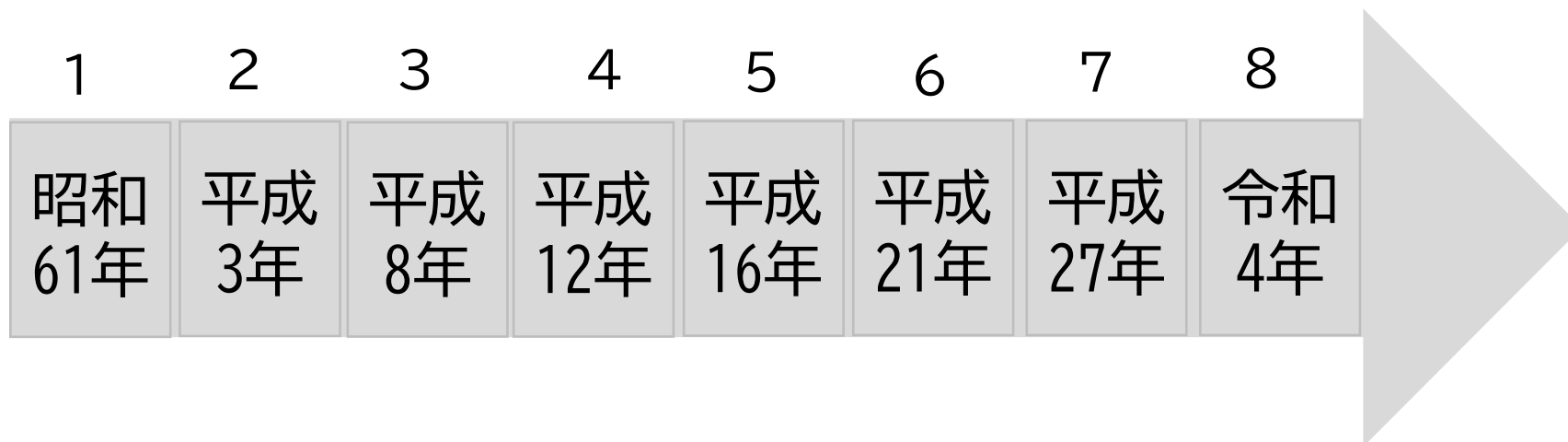
令和4年度「滋賀の健康・栄養マップ」調査結果より

調査の目的

本県の健康および栄養に関する現状と課題を把握



健康づくり、栄養、食生活改善に関する施策の
基礎資料ならびに事業効果判定の資料とする



令和4年度 調査の構成

(1) 18歳以上調査

令和4年6月1日現在で県内19市町の選挙人名簿から無作為抽出。

調査期間 令和4年10月

調査方法 郵送による配布、回収。調査期間中に礼状兼督促を送付。

調査内容 食物摂取状況調査（簡易式自記式食事歴法質問票）
生活状況調査

(2) 中学生、高校生調査

県内の公立中学校、高等学校から無作為に抽出した6校に通学する生徒

調査期間 令和4年9月～10月

調査方法 学校を經由して調査票の配布、回収を行った。

調査内容 生活状況調査

調査対象数および回収数

市町	調査対象数(B)	調査回収数(C)	回収率 (C)/(B)
草津市	1,660	749	45.1%
守山市	1,015	425	41.9%
栗東市	837	372	44.4%
野洲市	623	273	43.8%
県計	18,190	7,933	43.6%

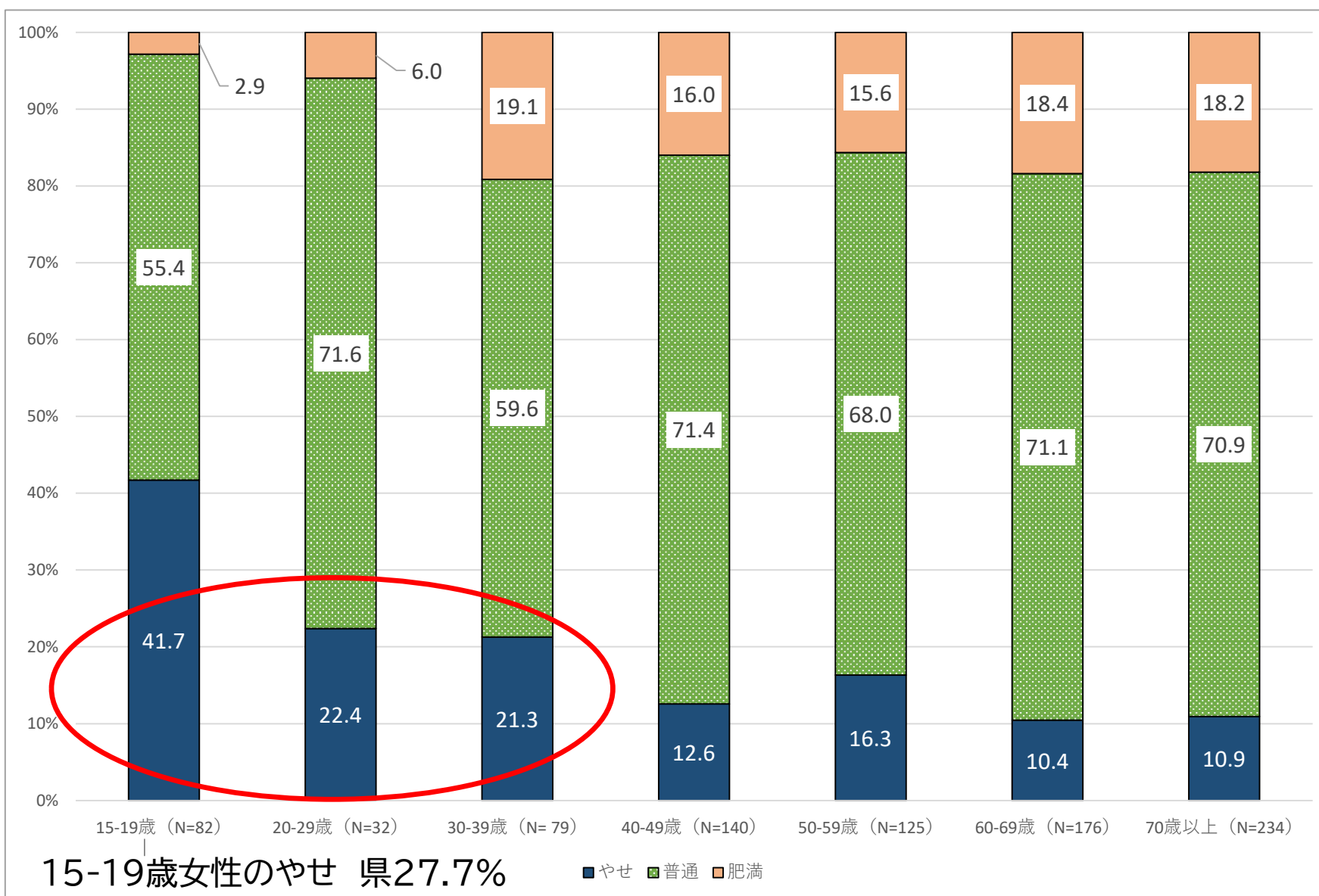
食物摂取状況調査実施者数

男性	県計	草津市	守山市	栗東市	野洲市	女性	県計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
18-19 歳	25	5	1	2	0	18-19 歳	41	3	5	1	2
20-29 歳	170	11	9	8	4	20-29 歳	251	23	17	16	14
30-39 歳	312	31	17	18	13	30-39 歳	398	34	24	21	18
40-49 歳	456	58	29	30	23	40-49 歳	615	76	39	40	22
50-59 歳	484	49	30	21	27	50-59 歳	690	54	40	34	19
60-69 歳	731	75	40	45	20	60-69 歳	922	73	42	42	46
70歳 以上	1,267	106	56	47	26	70歳以 上	1,289	120	61	40	32
総数	3,445	335	182	171	113	総数	4,206	383	228	194	153

1. 肥満とやせの割合 (BMI) 男性



1. 肥満とやせの割合 (BMI) 女性



2. 低栄養傾向の高齢者の割合 (65歳以上、BMI20以下)

湖南圏域

- 男性 14.2%
- 女性 24.0%
- 65歳以上（男女）平均 19.2%

滋賀県

- 男性 13.9%
- 女性 25.8%
- 65歳以上（男女）平均 20.0%